

学校運営協議会議事録

校名	府立東高等学校
校長名	寺本 圭一

開催日時	令和6年2月8日(木)15:30～16:30
開催場所	大阪府立東高等学校 会議室
出席者(委員)	森 久佳 会長 櫻井 次郎 副会長 仲 美師香 委員 赤井 礼子 委員 向井 秀俊 委員
出席者(学校)	寺本校長 田中教頭 森川首席 松岡実習教員
傍聴者	なし
協議資料	令和5年度学校経営計画及び学校評価(最終評価案) 令和6年度学校経営計画及び学校評価(案)
備考	

議題等(次第順)	
①令和5年度学校経営計画及び学校評価(最終評価案)について ②令和6年度学校経営計画及び学校評価(案)について	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
①令和5年度学校経営計画及び学校評価(最終評価)について、協議の結果全委員から承認された。 ②令和6年度学校経営計画について、協議の結果全委員から承認された。	
<p>協議において、次のような意見が出された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路指導の指数が他と比べて若干低くみられる。学年ごとの状況の違いや、アンケートをとったタイミングと関わってくるのだろう。進路情報は学年によっても内容が違うので、効果を確かめながらどのような発信をしていくか試行錯誤の段階であろう。 ・業務効率化は大変伸びている。 ・教職員側から見た生徒・保護者が納得できる生徒指導や基本的なマナー・生活習慣が身に付くように指導の評価が下がっている。現在はルールメイキングという運動が主流になっており、校則の運動の中ではポイントの一つにはなっている。ただ、共通ルールをどう設定していくのが大事なポイントでもあるし、難しいポイントでもある。指導の目線を合わせるということが大変重要になってくる。 ・納得した生徒指導をしているかどうかについて。保護者・先生目線と生徒の間では、ある種のずれとする見方もできる。どちらかに合わせるというよりは、ここで一つのせめぎ合いがあるという点が大変重要なポイントである。ずれがあるのが悪いことではなく、学校の中で当事者として過ごしていく中での共通、大事にしないといけないということが、現在進行形で動いてきているという読み取りもできるのではないかと。 ・1人1台端末について。先生方はICT機器を使いこなしていると言っているが、生徒は家に置いたままのことが多く、残念である。また、電子辞書を入学したときに購入したが、携帯あるからそれで済むからか、あまり使っていない様子が気になる。ただし、生徒一人ひとり端末を効果的に活用しているという点において、生徒は昨年より上がっているのは無視できない。先生も1人1台端末を効果的に使う取組が、より一層進展しているという見方もできる。 ・図書の貸し出しが、コロナ対応が緩和されたこと、意識的な働きかけ、特に探究と連動して貸し出し冊数が上回っている。 ・学校アンケートも入学してよかったという生徒が9割を超えているのは素晴らしい数字であり、ありがたいことである。 ・地震や火災などの災害時にどう行動したらよいかというその項目について。生徒は上がっているのでよく理解していると思うが、保護者の方は下がっているため、保護者はやや心配な部分だと思う。 ・学校の授業中にもしものことがあったら生徒は訓練しているので、正しい行動がとれると思うが、地域の人や会社関係の方がみんな来て、避難所になったときはどうするのかと、いつも考えている。 ・自学自習のとらえ方は、生徒と先生と保護者で違うのか。生徒の方が自学自習の考えを厳しくとらえている。宿題を自学自習じゃない、もしかしたら入試勉強も自学自習ではないと思っているのではないかと。 	

次回の会議日程	
日時	令和6年4月22日(月)16:30～
会場	大阪府立東高等学校 会議室